

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	日常ケアは入居者の状態変化によって方向性が変則的になりやすいため、介護現場が個別ケアの記録から実践に繋げられる余裕が見られていない。	入居者の日常生活や個人の特徴をより把握できるように、経過記録の徹底を図る。医療ケアにおいても主治医や訪問看護ステーションとの連携をより強固にしていく。	指示や申し送り伝達の様式だけでなく、当ホーム用の個人票を定期更新して入居者個人の今現在の状態を現場へ周知できるように努める。	3ヶ月
2	49	当ホームのアピールと地域交流は年々増してきているが、介護や医療の依存性が高い入居者の方が増えてきているため、外出の機会が限られてきていた。	入居者の気持ちや要望に寄り添ったり、医療依存のある入居者も体調の良い日には近隣のみでも良いので、外の環境で過ごして気分転換して頂ける支援に努める。	介護や体調のケアをする職員とは別に、入居者に楽しみや自立支援を促せる人員を増やしていく。地域の公共施設やボランティアの方にも協力を仰いで、外環境の時間を増やしていくことも検討する。	3ヶ月
3	11	昨年より現場職員の入れ替わりが増えていたため、当ホームの運営方針に関して現場職員が意見する機会が少ない(遠慮している)。	代表や管理者から常勤・非常勤職員に意見・相談をするのみならず、現場の職員が気になった事や介護で悩んでいる事を話しやすい職場環境づくりに臨む。	毎月ごとに運営方針や現場環境に対して感じている事を確認していく。意見・相談・提案などのある職員に関しては管理者より話し合える機会を設けて、必要であれば代表を通じて改善策を見出す。	3ヶ月
4					
5					